

別紙 1

クロスチェック実施要領

1.試験番号 RADI2017-01

2.試験名 ^{40}K を含む水質試料の放射能濃度

3.試験項目及び濃度範囲

試験にあたっては、下記の濃度を参考にしてください。

試験項目	濃度範囲	備考
^{134}Cs	5~50 Bq/L	3L ポリビン 2本
^{137}Cs	20~200Bq/L	
^{40}K	200~2000Bq/L	

4.試料の調製法

飛灰溶出液に塩化カリウムを添加し調製したもの。

5.試料の配布

Cs-134、Cs-137 及び K-40 を含む試料 2 濃度
宅配便で送付します。

6.試料の保存

放射線量は低いため、特別な管理をする必要はありません。

7.分析方法

試料は、3L ポリビンで送付しますので、各自測定容器に詰め測定してください。

今回の試料は、放射性セシウムに加え放射性カリウムの濃度も測定して報告してください。

測定は、ゲルマニウム半導体検出器、または NaI シンチレーションスペクトルメータをもちいて、 ^{134}Cs 、 ^{137}Cs それぞれの放射能濃度または合計 ($^{134}\text{Cs}+^{137}\text{Cs}$) の放射能濃度及び ^{40}K の放射能濃度を Bq/L として測定してください。

試験方法は、ゲルマニウム半導体検出器については、文部科学省の放射能測定シリーズ 7 「ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリー」平成 4 年改訂、NaI シンチレーションスペクトルメータについては、文部科学省の放射能測定法シリーズ 6 「NaI(Tl)シンチレーションスペクトルメータ機器分析法」昭和 49 年に準拠とする。

測定時間については、十分精度が確保できる時間としてください。

これ以外の分析方法を用いた場合は、分析方法を記載してください。

8.結果の報告

測定結果は、日本環境測定分析協会ホームページの RADI 研クロスチェックのページ

https://www.jemca.or.jp/analysis_top/radi_info/radi_cross/

に掲示の報告様式（エクセルファイル）中の別紙 3 の記載要領に従い記入してください。

9.報告期限

平成 29 年 10 月 31 日(火)まで（厳守してください）

報告は、メール（やむを得ない場合ファックス）で事務局へ送付してください。

10.その他

今回の試料中に有害金属は含まれておりません。結果の概要については、学会等において発表させていただくことがありますのでご了承ください。その場合、各機関が特定されないよう配慮します。